

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : 養液栽培用肥料 ME
会社名 : 全国農業協同組合連合会
担当部署 : 肥料農薬部
住所 : 〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JA ビル 33F
電話番号 : 03-6271-8285
Fax 番号 : 03-5218-2536
E-mail : zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先番号 : 03-6271-8285

使用上の制限 : 肥料

2. 危険有害性の要約

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外
皮膚腐食性・刺激性	区分外
生殖細胞変異原性	区分 2
生殖毒性	区分 1B
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分 2(神経系、消化管)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分 2(腎臓)

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	区分 2
水生環境慢性有害性	区分 2

* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険	
危険有害性情報	遺伝性疾患のおそれの疑い	H341
	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ	H360
	神経系、消化管の障害のおそれ	H371
	長期にわたる、又は反復暴露による腎臓の障害のおそれ	H373
	長期継続的影響によって水生生物に毒性	H411

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
粉じん/煙を吸入しないこと。(P260)
取扱い後は手及び顔をよく洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
必要な時以外は環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋を着用すること。(P280)

【応急措置】

- 暴露または暴露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)
- 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。(P308+P313)
- 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。(P314)
- 漏出物を回収すること。(P391)

【保管】

- 施錠して保管すること。(P405)

【廃棄】

- 内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。(P501)

3. 組成、成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
- 化学名(又は一般名) : 養液栽培用肥料

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
非公開	非公開	非公開	非公開	非公開

* 各法令通知対象に該当する成分情報については『15. 適用法令』参照

4. 応急措置

吸入した場合

- 直ちに空気の清浄な場所に移動させ、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

- 衣服等を脱ぎ、製品が付着した部分を流水と石鹸を用いて十分に洗浄する。
- 刺激等の異常が認められる場合には、医師の診断を受ける。
- 汚れた衣類は再使用の前に洗濯しておく。

眼に入った場合

- 速やかに流水にて 15 分間以上の洗浄を行う。
- 刺激等の異常が認められる場合には、眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合

- 口をゆすがせ、コップに 1~2 杯の水を飲ませて吐かせる。
- 医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

- 火災の状況に応じた適切な消火剤を使用する。

火災時の特定危険有害性

- 本品は不燃物であるが、加熱によって分解し、有害なガスが生じるおそれがある。

特定の消火方法

- 周辺火災の場合で移動可能な容器は、安全に行える場合に限り火災場所から搬出する。
- 移動不可能の場合には、容器とその周辺に散水して冷却する。

消火を行う者の保護

- 必ず呼吸保護具及び状況に応じた適切な保護具を着用して行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

- 適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用し、風上で作業する。
- 粉塵の吸入は避ける。眼や皮膚との接触は避ける。
- 屋内で漏洩した場合には、回収作業中と作業後に換気を行う。

環境に対する注意事項

- 粉塵の発生を避ける。

除去方法

- 粉塵が飛散しない方法で可能な限り回収した後、残渣を大量の水で洗い流し、排水処理を行う。
- 漏洩物には異物等が混入している可能性があるため元の容器には戻さず、適切な容器に回収して廃棄する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

本品の取扱い時には、暴露防止のために適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用し、作業中は十分に換気を行う。

粉塵の吸入、皮膚や眼への接触は避ける。

長期または反復暴露は避ける。

作業は粉塵を発生させないように注意する。

本品の用途(肥料)以外に使用しない。

作業後には手や顔を十分に洗浄する。

的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。

保管

乾燥した涼しい場所に密封保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

粉塵によって作業環境が汚染されないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化、あるいは全体換気を適切に行う。

管理濃度

管理濃度(作業環境評価基準(昭和63年労働省告示第79号))が設定された成分を含む。

許容濃度

日本産業衛生学会およびACGIHが許容濃度を設定している成分を含む。

保護具

呼吸器用の保護具 : 防塵マスクまたは使い捨て式防塵マスク

手の保護具 : ゴム手袋

眼の保護具 : 安全ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 長袖の作業衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状 : 粉末

色 : 黄色

臭い : 無臭

pH : 4.9(5%水溶液)

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 : データなし

融点/凝固点 : データなし

分解温度 : データなし

引火点 : データなし

発火点 : データなし

蒸気圧 : データなし

蒸気密度 : データなし

比重/密度 : 0.96(嵩比重)

溶解性

水に対する溶解性 : 水に可溶

オクタノール/水分配係数 (log Pow) : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

正常な状態で保管している場合には安定。

避けるべき条件

高温

避けるべき材料

強酸化剤

危険有害な分解生成物

本品は不燃物であるが、加熱によって分解し、有害なガスが生じるおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性

経口 LD₅₀ : 2000 mg/kg 以上(♀マウス)¹⁾

皮膚腐食性・刺激性

刺激性なし(ウサギ)¹⁾

遺伝毒性

Ames 試験 : 陰性¹⁾

生殖細胞変異原性

区分 2 に分類される成分をカットオフ値以上含有するため、区分 2 とした。

生殖毒性

区分 1B に分類される成分をカットオフ値以上含有するため、区分 1B とした。

特定標的臓器毒性(単回暴露)

区分 1(神経系、消化管)に分類される成分を区分 2 のカットオフ値範囲で含有するため、区分 2(神経系、消化管)とした。

特定標的臓器毒性(反復暴露)

区分 1(腎臓)に分類される成分を区分 2 のカットオフ値範囲で含有するため、区分 2(腎臓)とした。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性

区分 1 に分類される成分の含有量およびそれらの毒性値から区分 2 とした。

水生環境慢性有害性

区分 1 に分類される成分の含有量およびそれらの毒性値から区分 2 とした。

13. 廃棄上の注意

大量の水に溶解させ、排水処理を行う。

知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する)。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 3077 - 環境有害物質(固体)

クラス : 9

容器等級 : III

輸送の特定の安全対策及び条件

積載する場合には、容器の落下や転倒等の防止策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断するための措置を講じる。容器は乱雑に取扱わない。

15. 適用法令

肥料取締法

生第 103290 号(「養液栽培肥料 ME」)

毒物及び劇物取締法

非該当

労働安全衛生法

特定化学物質第 2 類物質、管理第 2 類物質(特定化学物質障害予防規則第 2 条第 1 項第 2, 5 号)

マンガン及びその化合物(塩基性酸化マンガンを除く)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号・別表第 9)

352 鉄水溶性塩、550 マンガン及びその無機化合物

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号・別表第 9)

352 鉄水溶性塩(40~50%)、379 銅及びその化合物

(≤10%)、550 マンガン及びその無機化合物(≤10%)

化学物質管理促進法(PRTR)

第 1 種指定化学物質(法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1)

No.412 マンガン及びその化合物(マンガンとして 1.5%)

船舶安全法

有害性物質

航空法

その他の有害物件

水質汚濁防止法

有害物質(法第 2 条、施行令第 2 条、排水基準を定める省令第 1 条)、指定物質(法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3)を含む

土壤汚染対策法

特定有害物質(法第 2 条第 1 項、施行令第 1 条)を含む

16. その他の情報

参考

- 1) OAT アグリオ株式会社社内試験報告書(2009)
MSDSnavi(日本ケミカルデータベース株式会社、2016)

連絡先

製品に関する問い合わせ先:コールセンター0120-210-928

中毒に関する緊急問い合わせ先:公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民専用電話 (情報提供料:無料)	医療機関専用有料電話 (情報提供料:1 件 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9~21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者
に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。ここに記載された数値は、規格値
や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本
品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。記載内容は当該製品
の一般的な取扱いについて記載したものです。当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実
状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用
されるようお願いいたします。

本 SDS は、下記 O A T アグリオ株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い
合わせください。

会社名 : O A T アグリオ株式会社
住所 : 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8 階
担当部署 : 品質保証室
電話 : 088 (684) 0220
FAX : 088 (686) 7055
緊急連絡先電話番号 : 03 (5283) 0251 (本社)